

令和3年度全国学力・学習状況調査

概 要

令和3年5月27日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。

この調査の目的は、以下のとおりです。

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

実施の状況

- (1) 調査の対象 小学校第6学年の全児童（6校284名）
中学校第3学年の全生徒（3校303名）
- (2) 調査内容 ①教科に関する調査
小学校第6学年・・・国語、算数
中学校第3学年・・・国語、数学
②質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

教科に関する調査結果

【調査結果の見方】

- ◇「町平均」の数値は、令和3年度全国学力・学習状況調査において、猪名川町内の小学校6年生と中学校3年生それぞれの児童生徒全員（実施した児童生徒）の平均値を表したものです。
- ◇「全国平均」の数値は、令和3年度全国学力・学習状況調査において、調査対象となった全国の公立小中学校在籍の児童生徒全員（実施した児童生徒）の平均値を表したものです。
- ◇分析の基準
「町平均」と「全国平均」との比較に関しては、以下の基準で表現しています。
平均正答率を全国と比較
 - ・+5ポイントより高い → 「上回る」「良好である」等
 - ・-5ポイントより低い → 「下回る」「課題がある」等
 - ・±5ポイント以内 → 「±5ポイントの範囲内にあり、全国と大きな差は見られない」

【小学校6年生】

教科	町平均正答率	全国平均正答率 (公立)	全国との差
国語	58%	64.7%	-6.7ポイント
算数	67%	70.2%	-3.2ポイント

国語	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果は、学習指導要領の内容の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」の領域で全国を下回っている（他の領域は±5ポイントの範囲内）。 設問別に見ると、「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題（書くこと）や、「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」問題（読むこと）に課題がある。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果は、学習指導要領の内容の「数と計算」の領域で全国を下回っている（他の領域は±5ポイントの範囲内）。 設問別に見ると、「小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる」かを問う問題（数と計算）、「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」かを問う問題（データの活用）に課題がある。

【中学校3年生】

教科	町平均正答率	全国平均正答率 (公立)	全国との差
国語	65%	64.6%	+0.4ポイント
数学	63%	57.2%	+5.8ポイント

国語	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果は、学習指導要領の内容のすべての領域において±5ポイントの範囲内にあり、全国と大きな差は見られない。 設問別に見ると、「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」問題（書くこと）に課題がある。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果は、学習指導要領の内容の「数と式」「図形」の領域で全国を上回っている（他の領域は±5ポイントの範囲内）。 設問別に見ると、「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」かを問う問題（資料の活用）に課題がある。

生活習慣や学習環境等に関する児童・生徒質問紙調査結果より抜粋

基本的な生活習慣、学習に関する関心・意欲・態度、家庭でのコミュニケーション、規範意識など、小中学校ともに69の項目について調査が行われました。

調査結果の肯定的な回答の割合が高かったものから、「良好な結果として捉えられる点」を、肯定的な回答の割合が低かったものから、「猪名川町の課題として捉え、今後改善が求められる点」を分析し、以下に挙げています。

【小学校6年生】

良好な結果として捉えられる点

- ・困っている人を助ける、いじめを許さない、友達と協力するなど、まわりの人を大切にしようとする気持ち。

猪名川町の課題として捉え、今後改善が求められる点

- ・自分で計画を立てた家庭学習の充実。
- ・読書活動の充実。
- ・ICT機器の活用。
- ・学級生活をよりよくするための話し合い活動の充実。
- ・自分で考え、自分の言葉で表現する活動を取り入れた授業改善。

【中学校3年生】

良好な結果として捉えられる点

- ・自分にはよいところがある、学校が楽しいなど、前向きな気持ち。
- ・困っている人を助ける、いじめを許さない、友達と協力するなど、まわりの人を大切にしようとする気持ち。
- ・数学に対する興味・関心。

猪名川町の課題として捉え、今後改善が求められる点

- ・読書活動の充実。
- ・ICT機器の活用。
- ・自分で考え、自分の言葉で表現する活動を取り入れた授業改善。

学力向上のための今後の改善方策について

【猪名川町の学力の課題】

令和3年度全国学力・学習状況調査（小学6年生、中学3年生対象）の結果及び過去数年間の同調査の結果、猪名川町学習到達度調査（小学5年生、中学2年生対象）の結果から、猪名川町の児童生徒の学力と学習習慣について、次のような課題があることが判明しました。

- ・国語では、「書くこと」「読むこと」の領域に課題がある。[小学校]
- ・算数では、「数と計算」の領域に課題がある。[小学校]
- ・国語の無解答率が高い。[小学校]
- ・「書く力」に課題がある。[小・中学校]
- ・1日当たりのテレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をする時間が1時間以上であると回答した児童生徒が多い。[小・中学校]

【今後の改善方策】

以上の結果から、以下の改善方策に重点的に取り組み、児童生徒の学力向上に努めていきます。

■授業改善

- ・授業力向上や学級づくりのための教員研修の充実。
（児童生徒が、自ら考え、自ら表現する活動を取り入れた授業）
- ・ICT機器の一層の効果的な利活用。
- ・いなぼう学習タイムによる基礎・基本の定着。
- ・「授業（保育）のユニバーサルデザイン化」の推進。
- ・学生や、地域住民による学校支援ボランティアの派遣。

■家庭学習の定着

- ・放課後学習の充実・拡充。
- ・宿題の量、出し方の工夫や家庭学習の推進。

■読書活動の推進

- ・学校図書館の充実。